

若者ボランティア育成・マッチング制度による、活動団体の「高齢化」、「後継者不足」問題の克服を通じた森林・里山保全活動強化事業

〒321-4104
栃木県芳賀郡益子町大沢2584-1
電話:0285-81-5373
E-mail:tochigi@conservation-corps.jp
<https://www.tochigi-cc.org/>



ひろげる助成

3年目

実践



若者による森林・里山ボランティア活動

研修を積んだ若者

20人

マッチング団体

4団体

今年度計画の達成度

84%

活動の全体目標に対する達成度

90%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

いずれの高齢森づくり団体も「若者に来てほしい」という気持ちはあるが、ハードルの高さや意欲の違いから危機感に差があり、公募型の研修を行うことや標準化が困難だった。

■ 工夫した点

高齢団体と若者のマッチングは目的ではなく手段である。無理に団体になぐのてなく、意欲のある若者たちへの自発的な森づくり活動グループの設立活動支援を開始した。

課題

森づくりボランティア団体の多くはメンバーの高齢化、後継者不足の課題を抱えている。世代交代を可能にする、若者リーダー育成と、団体へのマッチング制度を構築し克服。

目標

●若者ボランティアの森林・里山活動の裾野を広げる。また、経験や技術を積む機会を提供する。●若者を必要とする森づくりベテラン団体へ若者をマッチングする。

活動内容と成果

●若者の森林・里山ボランティア活動に、1,700人以上が参加を得た。●チェーンソー等の機械技術やグループコーディネート技術の研修には20人の若者が参加。市民による自発的な森づくり活動の人材を輩出できた。●意欲のある森づくり団体へは、若者と上手に活動するためのフォロー研修を個別で行い、若者とマッチングできたのは4団体であり、協力して活動できるようになった。若者による森づくり団体の新規設立も応援。4つの団体の中には、若者トレーニング修了生も在籍。多様な担い手の活動の形ができた。



団体向け、若者と上手に活動するための研修

全助成期間の活動を振り返って

活動を通し、課題のニーズをより感じた。社会貢献や活躍の場を求める若者は多く、若者を必要としているベテラン団体も多い。両者の世代間ギャップを埋めることができた事業であったと感じている。「団体」「若者」と一口に言っても、対人であり、標準化したものに加えて個々の対応が必要であったことは困難ではあった。しかしながら、今後も多様な人や組織と活動・連携していく上では、団体としてのさらなる力になった。



多様な世代の森づくり活動

今後の展望

市民による森づくり活動の機運を全体的により盛り上げていく活動を続けていく。森づくり団体同士の横のつながりや、団体メンバー以外の参加の裾野はさほど広くはないのが現状である。多様な世代や属性の人が集まれる森づくり活動を増やし、その過程で若者を中心とする人や活動の横の行き来を増やしていきたい。全体的な盛り上がり、栃木県の森林里山保全活動のプレーヤーだけでなく、サポーターの増加にもつながると確信している。